



小学生がSDGs・ICT技術を学ぶ とのみ ～富海拡幅事業で現場見学会を開催します～

山口河川国道事務所では4車線化整備完成に向けて一般国道2号富海拡幅事業を進めております。このたび、地域の未来を支える児童のみなさまが建設業界への興味をもっていただくことを目的に、戸田小学校の児童を対象とした現場見学会を開催しますのでお知らせします。

■見学内容：現場でのSDGsの取り組み紹介

- ・低炭素アスファルト舗装など
- ICT技術の取り組み紹介
- ・自動追尾測量機器を使用した測量実演など（詳細は別添のとおり）

■開催日時：令和8年1月16日（金） 13:15～14:30

■開催場所：一般国道2号 山口県周南市戸田地内

■参加者：周南市立戸田小学校 5年生 約30名

■協力会社：大有建設株式会社（令和7年度富海拡幅椿崎地区第2舗装工事 受注者）

※天候等により、イベント日時を変更する場合があります。

取材にお越しになる際は、前日17時までに問い合わせ先の担当まで連絡お願いします。



アスファルト舗装の施工



ICT技術用いた歩道の施工

■問い合わせ先

国土交通省 中国地方整備局 山口河川国道事務所

副所長(改築) 児玉 克史 (こだま かつし)

【担当】工務課長 井上 智 (いのうえ さとる)

建設監督官 山村 尚美 (やまむら なおみ)

電話番号 (0835)22-1785(代表)

【広報担当】計画課長 中岡 浩太 (なかおか こうた)

山口河川国道事務所ホームページ <https://www.cgr.milt.go.jp/yamaguchi/>

事業について詳しくはホームページをご覧ください。



最新情報などを配信しています。



事業説明動画を配信しています。



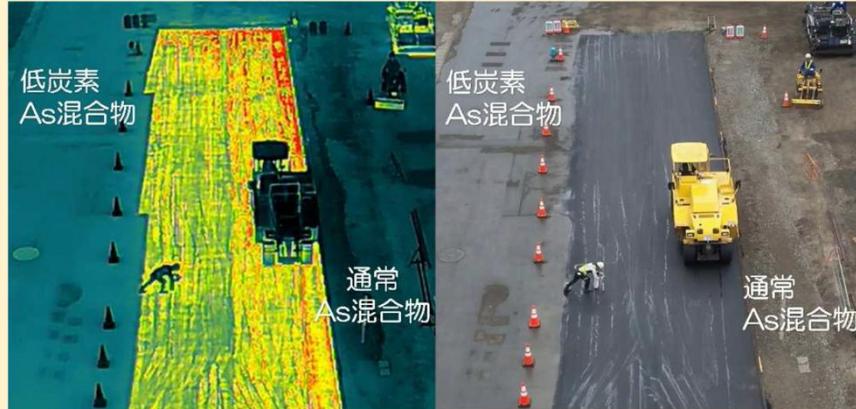
現場見学会の開催場所について



現場での取組

● SDGsの取り組み

通常アスファルトより温度が20~30°C低い低炭素アスファルト混合物を使用することで、高温にするために必要な燃料を減らすことが可能。



建設副産物として発生した古いアスファルト舗装を新しい舗装材料の一部として再利用する。



大有建設株式会社が行うSDGs※1の取組



● ICTの取り組み

測量機器が建設機械の位置と高さを捉え、計画した高さに自動で掘削、敷き均しが行う自動追尾測量技術。



二酸化炭素、窒素酸化物、炭化水素、微粒子状物質の排出が抑制される重機を使用。



※1 SDGs: Sustainable Development Goals (持続可能な開発目標)の略。持続可能で多様性と包摂性のある社会を実現するため、2030年までを期限とする17の国際目標のこと。

※2 TS: Total Stationの略
角度(水平角・鉛直角)と距離を高精度で測定できる測量機器のこと